

ワールドキャンパスインターナショナル  
2012年度プログラム  
概要報告



<目 次>

1 . 2012 年度事業の全体概要	
(1) 2012 年度事業の全体概要 .....	1
2 . ツアープログラムの概要	
(1) ツアープログラムの全体概要 .....	2
(2) 第 1 セッション .....	4
(3) 第 2 セッション .....	6
(4) 第 3 セッション .....	8
(5) 第 4 セッション .....	10
(6) 第 5 セッション .....	12
3 . 他プロジェクトの概要	
(1) 富士山キャンプ・プロジェクト .....	15
4 . 今回の成果と今後の課題	
(1) 成果 .....	16
(2) 課題 .....	16
(3) 関係者の感想 .....	17

参考資料

- ・ 参加者リスト
- ・ 各地 LOC 等協力組織（代表）リスト
- ・ スタッフリスト
- ・ 協力企業・団体等

## 1. 2012年度事業の全体概要

### (1) 2012年度事業の全体概要

今年度は、東日本大震災を受けた昨年度結果の影響により、従来のツアープログラム以外のプロジェクトは特に実施していない。

全体の概要は以下のとおり。

事業	日程	都市名	参加者	内容
ワールドキャンパスジ ャパンプログラム	6/6～8/31 5セッション制	11都市	13カ国49名	詳細は次ページ以降
(参考) グローバル言語文化研 究会、ホールアース自 然学校との協働による 富士山キャンプ企画	8/11～8/13	富士山 麓	グローバル参 加者：17名 WCI参加者：9 名 (+各NPOか らのスタッフ)	概要は15ページ

## 2. ツアープログラムの概要

### (1) ツアープログラムの全体概要

#### スケジュール

昨年は東日本大震災の発生によりプログラムを約半分に短縮し西日本だけで実施したが、今年は各地のご協力により例年通りの構成で実施することができた。

地域の事情により実施できなかった長野県上田市に代わり、新たに島根県益田市が加わった（長崎県大村市 / 福岡県大牟田市、熊本県荒尾市・熊本市 / 島根県益田市、大阪府吹田市 / 奈良県宇陀市、東京都多摩市 / 茨城県取手市、千葉県我孫子市 / 愛知県豊田市）

実験的にお盆休みの前後を長いブレイクにして、任意で参加できるオプションとして他 NPO との協力による企画を実施した（グローバル言語文化研究会、ホールアース自然学校との連携による「富士山キャンプ」）。

#### 【2012年ワールドキャンパスジャパンプログラム】

セッション	日程	都市名	主な活動
第1セッション	6月6日～6月14日	長崎県大村市	小学校・中学校活動、原爆資料館、少林寺拳法体験
	6月14日～6月20日	福岡県大牟田市	小学校・高校活動
第2セッション	6月23日～6月29日	熊本県荒尾市	刀鍛冶・居合い体験、小学校活動
	6月29日～7月3日	熊本県熊本市	こうのとりのゆりかご、大学生交流（熊本城等）
	7月3日～7月7日	島根県益田市	銅山跡整備、餅つき・流しソーメン、石見神楽、広島平和記念館
第3セッション	7月10日～7月18日	大阪府吹田市	インネバンディ、竹伐採・活用活動、大阪料理体験
	7月18日～7月24日	奈良県宇陀市	座禅体験、高齢者施設見学、室生寺
第4セッション	7月27日～8月4日	東京都多摩市	東京大学生ツアー、おじさま・おばさま交流、防災体験
	8月4日～8月10日	茨城県取手市	商店街 PR 支援、凧揚げ大会
第5セッション	8月17日～8月26日	千葉県我孫子市	うどん作り、高校生交流、地元夏祭り参加
	8月26日～8月31日	愛知県豊田市	田んぼ体験、トヨタ見学、足助・旭 PR

(参考)

【2011年ワールドキャンパスジャパンプログラム】

セッション	日程	都市名	主な活動
第1セッション	6月23日～7月2日	長崎県大村市	原爆資料館、少林寺拳法体験
	7月2日～7月7日	福岡県大牟田市	小学校体験、カルタ資料館
第2セッション	7月11日～7月19日	熊本県荒尾市・熊本市	刀鍛冶見学・居合い体験、こうのとりのゆりかご、熊本城
	7月19日～7月25日	奈良県宇陀市	老人ホーム見学・交流、座禅体験、室生寺、東大寺
第3セッション	7月29日～8月6日	大阪府吹田市	大阪タウンツアー、復興支援事業プランづくり、大阪料理体験
	8月6日～8月12日	愛知県豊田市	JICAワークショップ、トヨタミュージアム、農作業体験・ディスカッション

参加者

昨年11月に欧米、3月と4月に台湾、中国でのリクルート活動を実施した。

東日本大震災（および原発事故問題）にもかかわらず、昨年も多くの申込みがあったベルギー、オランダ、ノルウェー、フィンランドなどは反響があり、実際の申込み及び参加につながった。ただし、原発問題に対する不安が大きいと思われるドイツとデンマークからは依然として反応は小さかった。

中国では卒業生のネットワークからも申込みがあり、これまでよりも多くの参加者を得ることができた。なお、台湾では説明会には非常に反響があったものの、実際の申込みと参加にはつながらなかった。

日本国内の大学での参加者募集ができず、日本人参加者は少数だった。

参加者数：13カ国、49名（各セッション人数：5、10、27、21、9）\*スタッフ3名 + カウンセラー8名を除く

累計250名、38カ国：アメリカ、カナダ、メキシコ、ベネズエラ、ドミニカ共和国、ブラジル、ポルトガル、スペイン、イギリス、ドイツ、オーストリア、ベルギー、オランダ、ルクセンブルグ、イタリア、スイス、デンマーク（グリーンランド含む）、スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、ロシア、ウズベキスタン、キプロス、トルコ、カタール、ケニア、ウガンダ、オーストラリア、ニュージーランド、パキスタン、ネパール、インドネシア、ミャンマー、モンゴル、韓国、中国（香港含む）、台湾、日本

(参考)

2007年度プログラム：15カ国、39名  
2008年度春季プログラム：13カ国、23名  
2008年度夏季プログラム：12カ国、22名  
2009年度春季プログラム：14カ国、23名  
2009年度夏季プログラム：18カ国、35名  
2010年度プログラム：18カ国、39名  
2011年度プログラム：8カ国、20名

(2) 第1セッション

スケジュール

日付	概要
6月6日(水)	長崎空港 大村集合、対面式
7日(木)	オリエンテーション(暮らしガイド等)
8日(金)	大村市長表敬、萱瀬中学校でスポーツ交流・田植え体験、萱瀬保育園
9日(土)	少林寺拳法体験
10日(日)	ホストファミリーデー
11日(月)	長崎原爆資料館ツアー
12日(火)	オリエンテーション(イベント準備)
13日(水)	竹松小学校活動、ありがとうイベント
14日(木)	移動 大牟田、対面式
15日(金)	上内小学校活動
16日(土)	同上、ありがとうイベント
17日(日)	ホストファミリーデー
18日(月)	ありあけ新世高校活動
19日(火)	三池小学校活動
20日(水)	福岡空港・博多駅解散

ハイライト

長崎県大村市

例年スケジュールに組み込んで頂いている竹松小学校での活動、少林寺拳法体験や地域性を活かした長崎での平和学習を行なった。

- ・ 今年新たに萱瀬中学校でスポーツ交流及び田植え体験を実施し、短時間ではあったが、萱瀬保育園での交流も行った。これらは大村での初めての試みであり、今後

さらに深化させながら継続が期待される。

- ・ 竹松小学校への訪問は今回で 4 度目であり、活動の運営もスムーズに進んだ。新たな試みとして、5、6 年生との音楽パフォーマンス交流を体育館で開催し、より深く、楽しく相互理解活動ができた。



### 福岡県大牟田市

昨年に続き、学校・教育関係の活動を中心にスケジュールが組まれた。昨年訪問した三池小学校に加え、児童数減少が進み、学校行事に PTA を中心とした地域住民が深く関わっている上内小学校での活動も 2 日間実施した。

- ・ 上内での複式学級等も含め、三池・上内両小学校での体験を通して、日本の都市部と農村部での学校事情の違い、それぞれが持っている長所や解決されるべき問題点等を理解できた。
- ・ ありあけ新世高校を訪問し、通常の授業や有名な“てっぱん部(お好み焼きを研究・開発)”への参加、教師・運営スタッフとのディスカッションをさせて頂いた。大牟田での高校での活動は初めてであり、今後も是非続けていきたい。



### 参加者の感想

< 最も心に残った活動 >

- ・ ホストファミリー
- ・ 小中高の多様な学校活動

< 感じたこと > (一部)

- ・ 田植えなどの活動は地域の人たちと近づけるとともに、日本文化をよく知ることができて素晴らしい!
- ・ 原爆資料館は特別な時間になった。
- ・ 原爆資料館の後のチャイナタウンは不要だったかな、、、世界のどこにもあるし、見たいのは日本だから。
- ・ もう少し自由時間があるといいかも。。。



### (3) 第2セッション

#### スケジュール

日付	概要
6月23日(土)	福岡空港 荒尾集合、対面式
24日(日)	ホストファミリーデー
25日(月)	オリエンテーション(暮らしガイド、市長の荒尾紹介等)
26日(火)	" (イベント準備) 刀鍛冶見学、居合い体験
27日(水)	緑ヶ丘小学校活動
28日(木)	ありがとうイベント
29日(金)	移動(熊本) 慈恵病院「こうのとりのゆりかご」見学 対面式
30日(土)	YMCA 若者ボランティアと交流(熊本城など)
7月1日(日)	ホストファミリーデー
2日(月)	ありがとうイベント
3日(火)	移動 益田、対面式
4日(水)	都茂銅山の整備体験(竹伐採など)、竹細工・歯釜炊飯体験、温泉入浴
5日(木)	真砂小学校・中学校活動
6日(金)	グランドゴルフ体験、餅つき・流しソーメン、ありがとうイベント(石見神楽見学)
7日(土)	広島駅解散 途中、広島で平和記念資料館見学

#### ハイライト

##### 熊本県荒尾市

このセッションでは3都市を訪問したため、各都市の滞在期間が例年より短くなった。荒尾市には、オリエンテーションの期間も含め6日間の滞在となったが、例年実施している荒尾市長によるレクチャーや刀鍛冶見学・居合い体験を行なった。

- ・ 緑ヶ丘小学校での授業体験、教員とのディスカッション、体育館での全校児童との音楽交流は新たな試みとして、今後の荒尾での活動の中でさらに深化していくことが期待される。



- ・ ありがとうイベントも成功裏に開催されたが、WCI メンバーを介してのホストファミリー同士の交流をもっと深めたいとの声が多く聞かれ、今後の活動に反映されるように工夫していきたい。



### 熊本県熊本市

4日間という短い滞在期間の中で、例年実施している慈恵病院「こうのとりのゆりかご」への訪問を行なった。

- ・ 新たに YMCA の大学生ボランティアによる熊本市内散策や文化・意見交換会等、中身の濃い活動を実施することができた。今年の活動に参加した大学生の今後の関わりを期待したい。
- ・ 今年 4 月に政令指定都市になった熊本市の代表として、熊本市観光局長を表敬訪問させて頂き、熊本市の特徴や観光政策・今後のプラン等のお話を聞くことができた。県庁所在地での滞在ということもあり、今後も市長や県知事への表敬訪問・レクチャーの実施を模索していきたい。



### 島根県益田市

中山間地におけるコミュニティ活性化の一環として、地域振興グループと市行政の協働で受け入れて頂いた。初めての取組みだったが、日本の“田舎体験”と昔ながらのホスピタリティで、WCI プログラムの幅を広げる協力地域となった。

- ・ 銅山の整備体験と野外での日本食づくり、温泉体験という、外国人参加者にとってきわめて貴重な企画構成となった。雨天による変更もあって、若干時間のゆとりが多くなった印象があった。
- ・ 全校生徒数が一桁の過疎化する小・中学校は参加者にとっては驚きでさえあったが、一日を使った活動は双方に非常に強い絆を残した。また、典型的な田舎の風景の中での餅つき・流しソーメン・地元料理に加え、石見神楽の鑑賞は他ではで

きない活動だった。

- ・ 今年セッション全体の期間の関係からやや短い滞在となったため、次回はホストファミリーをはじめとして、地元の方との交流・意見交換なども組み込めるとさらに良い。



#### 参加者の感想

<最も心に残った活動>

- ・ 熊本城、日本刀
- ・ 流しソーメン、温泉、神楽、周辺の風景

<感じたこと> (一部)

- ・ 日本の都会と田舎の両方を見て体験することができて有意義だった。
- ・ 益田は他では感じられない伝統的な(田舎の)文化と小さな地域社会のあり方に触れることができた。
- ・ 地域をあげて歓迎してくれていることが全ての場面で感じられた。ただ、短かった。
- ・ 益田での保育園訪問などはもう少し長い時間だともっと良かった。



#### (4) 第3セッション スケジュール

日付	概要
7月10日(火)	関西国際空港 吹田集合、対面式
11日(水)	オリエンテーション(暮らしガイド等)
12日(木)	吹田散策(泉殿宮、浜屋敷) オリエンテーション(イベント準備)

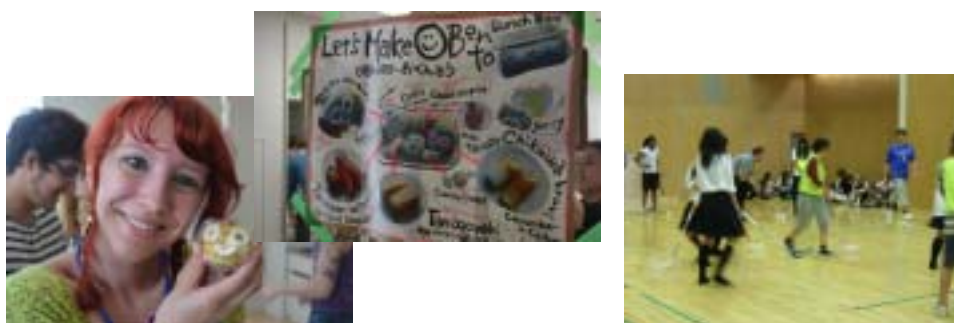
13日(金)	アスリートレクチャーとスポーツ体験“インネバンディ”
14日(土)	ありがとうイベント
15日(日)	ホストファミリーデー
16日(月)	休日
17日(火)	お弁当づくり体験、竹林伐採活動
18日(水)	移動 宇陀、対面式
19日(木)	座禅体験、地域の子ども交流
20日(金)	特別養護老人ホーム室生園見学、室生寺見学
21日(土)	料理体験、茶道・着物体験 お寺でパーティ
22日(日)	ホストファミリーデー
23日(月)	老人会とゲートボール、ありがとうイベント
24日(火)	関西国際空港・新大阪駅解散

## ハイライト

### 大阪府吹田市

主なテーマを健康として、プロアスリートによるレクチャー・ディスカッションや地域活動として取り組まれている北欧発祥のスポーツ「インネバンディ」の普及といった新しい企画が実施された。

- ・ 昨年まで3年間、入れ替わりながら継続してきた大学生のボランティア参加がなくなったことで企画内容も変更されたが、安定的な組織づくりが課題である。
- ・ 学生の参加がなくなった代わりに、他の地域活動や組織と連携し、より多くの地域住民との接点ができる。毎日の昼食も料理を通じて地域活性化を図ろうとするグループの協力を得て、料理体験の企画としても導入できた。



### 奈良県宇陀市

例年好評な企画で安定的に実施されており、寺・仏教、着物・茶道、高齢化といった切り口で都市部の吹田とのコントラストもわかりやすく、参加者の満足度も高かった。

- ・ 毎年訪問させて頂いている介護施設では、定期イベントとして根付いており、先方が主体的に進行して下さるようになっている。今後、より深いレベルでの交流

ができるよう期待される。

- ・ 禅寺での座禅体験も非常にスムーズに実施されている。以前行っていた宗教に関するディスカッションなど、時間の関係でここ数年行っていない企画も、地域の方たちを交えて実施していきたい。



#### 参加者の感想

<最も心に残った活動>

- ・ ホストファミリー
- ・ 座禅体験、日本文化体験

<感じたこと> (一部)

- ・ 大阪・奈良の地域性を考えると、京都でも何かできると良かった。
- ・ 日本の精神文化はとても興味深く、昔からの伝統と現代の生活が共存していることを見ることができて素晴らしかった。
- ・ 奈良公園や大阪城が良かった。
- ・ もう少し自分たちの目線で街(地域)を見る時間が欲しかった。暑い中での長い歩きはきつかった。



#### (5) 第4セッション

##### スケジュール

日付	概要
7月27日(金)	成田空港 多摩集合、対面式
28日(土)	オリエンテーション(暮らしガイド等) 地震防災体験
29日(日)	ホストファミリーデー
30日(月)	オリエンテーション(イベント準備) 市長表敬
31日(火)	語学勉強中のおじさま・おばさまと交流

8月 1日(水)	大学生と東京発見ツアー
2日(木)	休日
3日(金)	子ども交流イベント、ありがとうイベント
4日(土)	移動 取手、対面式
5日(日)	ホストファミリーデー
6日(月)	お弁当づくり体験、日本文化体験
7日(火)	“百年暖簾”(老舗)PR活動、松陽・藤代紫水高校の日本紹介
8日(水)	凧づくり・凧揚げ、ポットラックパーティ
9日(木)	ありがとうイベント、日本文化披露
10日(金)	成田空港・上野駅解散

## ハイライト

### 東京都多摩市

例年と同様に、できるだけ多くの地域住民と交流することをテーマとして、子どもたち、大学生、高齢者それぞれのグループと連携をとりながら、活動が企画された。特に、子どもとの交流イベントは児童館と連携し、特定の子どもたちではなく、広く周辺地区から参加してもらうことができた。

- ・ 災害対応に関する企画は初めてで大変興味深かったが、一昨年の救急処置などと合わせて、地域の方と一緒に体験・意見交換できるような構成にできるとより深まるかもしれない。
- ・ 多摩のLOCの主な皆さんは後述するブレイク中の富士山企画でも主体となっており、企画調整能力が格段に充実している。



### 茨城県取手市

毎年好評な凧づくり・凧揚げ、日本文化体験・披露、老舗商店の見学とPR素材づくりと主な企画メニューが固まっており、運営はきわめてスムーズである。

- ・ 多摩と同じように、オペレーションが充実する一方で、内容の深化を伴う新たな展開が課題となっている（商店の方を招いたプレゼンの時間設定や高校生の他活動への参加調整など）。
- ・ 取手 LOC は WCI プログラム以外の地域活動に積極的に参加されており（正月の

たこあげ大会、取手蛸輪、福祉施設でのバザー活動、昨年の被災地・被災者支援等）そうした活動との連動も大いに期待される。



### 参加者の感想

<最も心に残った活動>

- ・ ホストファミリー
- ・ 大学生と東京ツアー、凧づくり・凧あげ・ポットラックパーティ

<感じたこと> (一部)

- ・ 凧あげや大学生との東京ツアーなど、インドアよりアウトドアがうれしい。
- ・ ホストファミリーが集まるポットラックパーティは楽しかった！
- ・ 地域の人たちと直に触れ合える活動は素晴らしい。
- ・ もう少し外に出る時間や自由な時間などがあると良かったかも。



### (6) 第5セッション

#### スケジュール

日付	概要
8月17日(金)	成田空港 我孫子集合、対面式
18日(土)	オリエンテーション(暮らしガイド等) 我孫子紹介
19日(日)	ホストファミリーデー
20日(月)	うどんづくり、環境活動紹介と竹灯籠デザイン
21日(火)	高校生とりサイクルろうそく作り、竹灯籠作り
22日(水)	オリエンテーション(イベント準備) カップ祭りリハーサル
23日(木)	ありがとうイベント
24日(金)	休日

25日(土)	カップ祭り
26日(日)	移動 豊田、対面式
27日(月)	トヨタ工場見学、自由時間(兼ホストファミリーデー)
28日(火)	農業体験・交流@旭 (地域通貨入手)
29日(水)	商店街PR活動@足助 (地域通貨利用)
30日(木)	ありがとうイベント
31日(金)	中部国際空港・名古屋駅解散

## ハイライト

### 千葉県我孫子市

日頃から環境をテーマとして活動しているLOCとして、不要な竹を活用した灯籠と廃油をリサイクルしたろうそくを組み合わせた“竹宵”のカップ祭り(地域の夏祭り)への参加を軸とした企画を実施した。

- ・ 地域の手打ちうどんサークルの皆さんや地元高校生、また、施設を利用して頂いた中央学院大学など、より多くの地域の方たちと交流する機会が増えている。
- ・ 企画の主軸が決まっていることはわかりやすかったが、活動場所も同じ施設の中にあることが多く、時間設定にもう少しメリハリがあっても良かったかもしれない。



### 愛知県豊田市

一昨年から続く山間部の旭・足助地区の地域活動との連携をさらに進化・深化させて、市街地のホストファミリーと一緒に一泊二日の企画を実施した。

- ・ 滞在日数がやや短くホストファミリーデーも確保できない中で(また日中は多くの家庭が活動に参加できない中で)、多くの時間を旭・足助地区で過ごしたことが課題となった。市街地で調整して下さる組織と山間部の組織が直接つながったため、双方にとって有意義な活動のあり方について今後、検討していきたい。
- ・ 今年は例年と少し日程がずれたため、ここ数年できなかったトヨタの工場見学が可能となり、参加者には好評だった。一方で、毎年恒例となっていた名古屋外大の協力による休日の名古屋ツアーができなかった。

旭地区で教えて頂き作ったモンペ（浴衣の再利用）のファッションショー動画  
[http://www.youtube.com/watch?feature=player\\_embedded&v=9YKGBDKPBcg#!](http://www.youtube.com/watch?feature=player_embedded&v=9YKGBDKPBcg#!)  
足助地区の商店街を巡って作った PR サイト  
<http://asuke.jimdo.com/>



#### 参加者の感想

##### <最も心に残った活動>

- ・ フラダンス、うどん、ろうそく作りなど、地域の人との触れ合い
- ・ 旭・足助での農作業・川での水浴び

##### <感じたこと>（一部）

- ・ 我孫子では一つの施設にいる時間が多く、時間の使い方にもう少し工夫があっても良かった。
- ・ 竹灯籠づくりは楽しかったが、暑さと蚊には参った。。。。
- ・ 豊田の滞在が少し短かったのが残念だった。
- ・ ホストファミリーとの時間が短かったのは残念だったが、一泊の企画自体は面白かった。





### 3. 他プロジェクトの概要

#### (1) 富士山キャンプ・プロジェクト

##### スケジュール

日付	概要
8月11日(土)	早朝出発、午後富士山ろく「山の村」到着 異文化理解・交流活動
12日(日)	午前中に5合目へ、5合目から6合目の火口まで登山・樹林を抜けて5合目到着、夕方からキャンプファイヤー
13日(月)	午前出発 東京到着

##### 参加者

NPO 法人グローバル言語文化研究会：

NPO 法人ワールドキャンパスインターナショナル：

##### 活動内容

多摩 LOC のメンバーの多くが所属する NPO 法人グローバル言語文化研究会が定期開催している英語キャンプの特別バージョンとして、WCI プログラムの第 4 セッションと第 5 セッションの間のブレイク中に共同企画し、WCI 参加者からも希望者を募った。また、2 日目の登山については、NPO 法人ホールアース自然学校の協力を得ることができ、専門的な見地からの安全性を確保した上で、参加者がレベルに応じて楽しむことのできる内容を実施することができた。



#### 4．今回の成果と今後の課題

##### (1) 成果

- ・ 仕組みの効率化などを進め、最重要課題のリクルートに特に注力してきたが、震災発生により、昨年はその効果を確認することができなかった。その意味において、今年参加者数が増加したことは2年前からの成果が一定程度認められる。
- ・ 昨年の報告書でも記述したように、昨年の参加者は非常にモチベーションが高く、帰国後のPRなどにも積極的に協力してくれた。これも上述の参加者数増加につながった。
- ・ また、インターンへの希望者も多く、今回マネジャーとしてのスタッフを補完するため、これまでで最多のプログラム経験者を”カウンセラー“として採用した。
- ・ 長野県上田市が諸事情により受け入れ見送りとなったが、島根県益田市が新たな協力地域として加わった。
- ・ 益田の皆さんのきわめて高いモチベーションは参加者にも確実に伝わり、双方に強い印象を与えた初滞在となり、地域活性化のきっかけづくりを検討している地方でのWCIプログラムの意義を確認できた。
- ・ 各地の協力団体がWCI以外の活動にも積極的に関わっておられ、特に企画調整能力に長けておられる多摩の活動とコラボレーションして富士山企画を実現できたことは非常に参考になった(子どもキャンプの内容、富士山のコンテンツとしての強さ、ブレイクのあり方など)。
- ・ 豊田でのつながりが広がり、活動内容も進化・深化しており、市街地と山間部をつなぐための貢献について、WCIの可能性を確認できた。
- ・ これまで各地で大学生ボランティアや教員の個人的な協力などは得られてきていたが、我孫子での活動において、地元の中央学院大学から大学としての協力を得られたことは今後につながる進展だった。
- ・ 例年よりも多い参加者分のホストファミリーを集めることができるかどうか不安視する声が多く地域で聞かれたが、これまでアプローチしていなかった団体や媒体などに情報を流すことで、新しいホストファミリーなどの協力者を獲得できた。

##### (2) 課題

- ・ 一昨年からのリクルートが一定程度の成果をあげる一方、セッション間でばらつきがある。すなわち、第1セッションと第5セッションの参加者数がきわめて少なく、セッションの日程を再調整するとともに、リクルートでも考慮する必要がある。
- ・ 6年目を迎え、多くのLOCで好評な企画が確保され、全体的なオペレーションもスムーズになっている一方、いくつかのLOCからは負担感がモチベーションを越える時があるという声も聞かれた。
- ・ また、WCIに対しても、参加者が増える一方で(あるいはそれが理由の一つかもしれないが)参加者の中で地域やホストファミリーに対する感謝の意識が薄くな

っているのではないかという意見も寄せられている。

- ・ 2年間継続して実施した LOC フォーラムについて、昨年は財政事情から実施できず、準備不足でスカイプ会議も開催できなかった。今年は何らかの情報・意見の共有が不可欠である。

LOC フォーラム:各地の協力組織‘ Local Organizing Committee’ (通称:LOC、ローカルキャンパス)のメンバーが集まり、情報共有・意見交換を図ることで、各地の横断的な連携を促進する。

- ・ また、今回は予期していなかったプログラム途中での参加者のキャンセルなども発生したため、LOCにご迷惑をおかけしないよう、WCIとLOCの間の約束事を再整理して明文化する必要があるとの認識で一致した。
- ・ 新たな協力先である大牟田市や益田市、また地域側のサポート体制が変わった豊田市など、まだ安定的なLOCになる前の形成途上にある地域グループの皆さんに対する支援がより必要である。

(昨年からの再掲)

- ・ 各参加者が自国を象徴するものや紹介したいことなどを持参しなくなってきており、これも事前に徹底する必要がある。
- ・ 現時点で WCI から各地協力組織への資金助成は困難だが、例えば、地元製品のPRや物販など、協力組織の資金調達の支援あるいは労働による価値提供などは可能である(むしろ、活動内容の多様化につながる)
- ・ 商店PRや地域の観光資源の開拓など、地域へのわかりやすい寄与も重要である(行政へのPRやメディアへのアピール、ひいては地域での協力人材増加にもつながる)

取手での老舗PRビデオ製作、荒尾での世界遺産登録の推進方策検討など

### (3) 関係者の感想

<参加者からの一言>

- ・ 日本に短くても1年間は暮らしてみたい。そして、もっと他の国のことも学んでみたい。将来、自分の子どもにも同じような体験をさせたい。
- ・ コミュニケーションが難しい中での経験を通じて、忍耐が身についたと思う。いろいろな方法で伝える能力も学んだ。どこへでも行けるようになったと思う。
- ・ 毎日、知らないことに順応できていく自分に驚いた。とても刺激的で、何でもできるような気がする。“ありがとうございます!”
- ・ 他国の情報を知るだけでなく、自分の国のことをもっと知ってもらおうという気持ちが生まれた。
- ・ 英語を専攻しており、英語の訓練になったこと、世界中に友達が出来たこと、いろんな文化を知ることができたことが本当に良い経験になり、さまざまな方向から世界を見ることが出来るようになったと思う(中国)。

- ・ 自分は元々シャイだが、知らない人とコミュニケーションしたり、沢山の人の前に出たりすることが少しだけできるようになった。
- ・ 子どもは苦手だと思っていたが、そうでもないみたい。。
- ・ WCI で出会った人は全て、一生の宝です！
- ・ また必ず日本に来ます！

< 地域・ホストファミリーからの一言 >

- ・ 以前我が家にステイしたメンバーが、また受け入れをしていることを知り、家族写真を送ってほしいと言ってきた。メンバーがツアー後もつながっていること、娘たちの成長を楽しみにしていること、うれしかった。
- ・ 外国人の子と話す中で何気なく使っている日本語について新たな発見があった。同じ地域内の方たちと出会えたことも有意義だった。
- ・ 毎日ハグしてくれたので、お別れするととても恋しくなりました。やはりスキンシップは大切。最近怒ってばかりだけど、家族にたくさんハグしたい。
- ・ 今日本の若者は海外に出たがらないらしい。WCI メンバーの異文化に興味を持ち、さまざまな人と関わろうとする前向きな姿勢に感動と刺激をもらった。
- ・ 自分の街を外国の方に紹介したいと思っていたが、自分がその良さを自覚し直し、一層好きになったことに驚いている。
- ・ 貸切状態のファミレスで家族揃って踊ったダンスは永遠の思い出です。
- ・ 今回の経験で地域の方も自信がつき、より一層地域づくりの先頭に立ってもらえるのではないかと思います。貴重な体験に感謝します。
- ・ 日本人でもナカナカ体験出来ない事を、日本滞在のプログラムとして取り入れられている事。そして、それを地元の方が一体となって提供されている事。2つのステキな取り組みを同時に感じる事が出来て幸せでした！



参考資料

参加者リスト

【ツアープログラム】

	氏名	年齢	出身国	セッション
1	Daniel Gallion	37	ルクセンブルグ	2
2	Joakim Gasoy	19	ノルウェー	2, 3
3	Alvaro Martin-Mazorra	22	スペイン	2, 3, 4
4	Maria Sorlid	21	ノルウェー	2, 3, 4, 5
5	Dieter de Paepe	25	ベルギー	5
6	Rianne de Rijke	26	オランダ	1
7	Alex Kokke	19	オランダ	3
8	Alexander Polk	26	アメリカ	1
9	Anabel Torres	21	ドミニカ共和国	4, 5
10	Annelien Wlekly	20	ベルギー	3, 4
11	Belinda Bringtoft	21	デンマーク	3
12	Ellery Oosterberg	28	オランダ	2, 3, 4
13	Pepijin Gerrits	21	オランダ	3
14	Goedele Samaey	21	ベルギー	5
15	Tine van den Broecke	19	ベルギー	5
16	Katja Maatta	23	フィンランド	4
17	Louise Nedergaard	21	デンマーク	3
18	Mitchell van Poecke	24	ベルギー	3
19	Nicole Tolman	21	オランダ	3, 4
20	Rodney Lee	46	カナダ	1
21	Sanne Boonstra	24	オランダ	3
22	Sinja de Block	21	オランダ	4
23	Tiina Lampen	22	フィンランド	4
24	Vaya Vos	22	オランダ	2, 3
25	Yvonne Stegink	21	オランダ	4
26	Justin Livon	18	アメリカ	2, 3
27	Marijke Langevoort	21	オランダ	2, 3
28	Natalia Hansen	18	ノルウェー	3, 4
29	Inneke Huez	20	ベルギー	3
30	Fernando Cistemas	27	アメリカ	3
31	Jordan Freda	24	アメリカ	3
32	Aliza Gerstein	23	アメリカ	3

33	Andrea Hemmingsson	19	スウェーデン	4
34	Kristen LaMier	20	アメリカ	1
35	Anlong Vuong	26	オランダ	2, 3
36	Louise Kypers	21	ベルギー	3
37	Xiaoxing Feng	26	中国	3
38	Morgan McMulloch	20	アメリカ	3, 4
39	Robin de Rijke	22	オランダ	1
40	Ying Zhang	22	中国	3
41	Yue Lu	22	中国	3
42	Angeline Taylor	21	アメリカ	3, 4
43	Ying Zhang	17	中国	3
44	Alexandra Goitia	24	アメリカ	4
45	Alexander del Campo	20	アメリカ	4
46	Rie Hayase	30	日本	4, 5
47	Yuting Chen	24	中国	5
48	Yue Qi Wang	23	中国	5
49	Maki Oshima	37	日本	5

各地 LOC 等協力組織（代表）リスト

	都市名	協力組織	LOC 外	代表者
1	長崎県大村市	NPO 法人 Up with おおむら		大隈和博
2	福岡県大牟田市	WCI 大牟田市実行委員会		森京子
3	熊本県荒尾市	アッピーありあけ		
4	熊本県熊本市	ワールドキャンパスくまもと実行委員会		前田香代子
5	島根県益田市	191 交流協議会「輝」		大庭完
6	大阪府吹田市	国際隣人グループ SING		三原満里
7	奈良県宇陀市	室生国際交流村実行委員会		北森義卿
8	東京都多摩市	ワールドキャンパス多摩		橋本正晴
9	茨城県取手市	取手ホストファミリーの会		飯村淳子
10	千葉県我孫子市	住み良いまちづくり研究所		浜崎慶子
11	愛知県豊田市	オープンハート		大沼紀子

スタッフリスト

	担当	氏名	備考
1	総括	西村 紀公	NPO 法人理事長(兼参加者勧誘及びプログラム管理)
2	ジェネラルマネジャー	安井 英人	地域コーディネート及び法人総務担当
3	エンrollmentマネジャー	Ben Hufford	参加者受付、国内参加者勧誘及びプロダクション担当

( ツアースタッフ )

	担当	氏名	出身国
1	教育担当	Celiana Dolovitz	ベネズエラ
2	プロダクション担当	三原 有生	日本
3	通訳(兼オペレーション補佐)	尾野 りく	日本(中国)
4	カウンセラー(プロダクション)	Kyle Chan	アメリカ
5	カウンセラー(＃)	Paulina Meza	メキシコ
6	カウンセラー(＃)	Daniel van Delft	オランダ
7	カウンセラー(通訳・オペ)	本田 まき	日本
8	カウンセラー(＃)	Frank Floris	オランダ
9	カウンセラー(プロモーション)	Jurrien Theunisz	オランダ
10	カウンセラー(＃)	Iris Spruit	オランダ
11	カウンセラー(＃)	Torunn Olsen	ノルウェー



協力企業・団体等

	都市名	企業・団体名
1	大村市	NPO 法人 Up with おおむら 大村市、大村市教育委員会・郡地区公民館、大村市少林寺拳法協会大村西支部、 萱瀬中学校、萱瀬保育園、竹松小学校、長崎県原爆資料館、財団法人長崎原爆被 災者協議会
2	大牟田 市	WCI 大牟田市実行委員会 上内小学校、三池小学校、ありあけ新世高校
3	荒尾市	アッピーありあけ 荒尾市、荒尾市教育委員会、緑ヶ丘小学校、荒尾総合文化センター、荒尾市中央 公民館、松永日本刀剣鍛錬所、古武道小岱流斬試源清会
4	熊本市	ワールドキャンパスくまもと実行委員会 熊本市国際交流室、熊本国際コンベンション協会、熊本市国際交流会館、慈恵病 院、中央 YMCA、上通 YMCA、上通国際ユースボランティア、自立の店「ひまわり」、 熊本男女共同参画センターはあもにい
5	益田市	191 交流協議会「輝」(地区振興センター：豊川、真砂、東仙道、都茂、二川、道川) 益田市、真砂小学校、真砂中学校、都茂地区直進会、三谷神楽社中、NPO 法人て ごねっと石見
6	吹田市	国際隣人グループ SING 吹田市、吹田市教育委員会、吹田青年会議所、財団法人吹田市国際交流協会、泉 殿宮神社、浜屋敷、すいたまん塾、吹田インネバンディ倶楽部、株式会社ブルー ミング(高尾憲司様)、千里竹の会、山崎パン、大阪府立北千里高校有志
7	宇陀市	室生国際交流村実行委員会 宇陀市、室生地域振興センター、妙圓寺、室生寺、蓮昇寺、特別養護老人ホーム 「室生園」、笠間地区ゲートボール部、室生茶道クラブ
8	多摩市	ワールドキャンパス多摩 多摩市、多摩市教育委員会、多摩市国際交流センター、東京多摩プロバスケット、 唐木田コミュニティセンター運営協議会、唐木田児童館、パルテノン多摩、NPO 法人グロウバル言語文化研究会
9	取手市	取手ホストファミリーの会 取手市、取手松陽高等学校英語部、藤代紫水高等学校2年1組有志、油市、(株) 新六本店、(株)田中酒造店、矢羽根本家、どじょっこの会、白山お囃子クラブ、 山本佳代子様(琴指導)、PLS スマイルクラブほほえみ、取手セントラルクラブ、 第0研究室、下総風の会
10	我孫子 市	住み良いまちづくり研究所 我孫子市、我孫子市教育委員会、我孫子国際交流協会、我孫子市社会福祉協議会、



		近隣センターこもれび、我孫子市商工会、我孫子かっぱ祭り実行委員会、中央学院大学、中央学院高等学校、八日会、我孫子河童音頭保存会、寺嶋トシエフラダ ンスグループ
11	豊田市	オープンハート 財団法人豊田市国際交流協会、トヨタ自動車(株)、おむすび通貨物々交換局、株式会社 M-easy、NPO 法人都市と農山村交流スローライフセンター

合同会社ソーシャルベンチャーパートナーズ東京  
株式会社チームビルディングジャパン  
チャイルド・オアシス・プロジェクト（テーマ曲「KIZZUNA」制作）  
NPO 法人ホールアース自然学校

< 会員企業 >

株式会社シラネインターナショナル  
ランドマークプロダクツ株式会社  
株式会社インサイドクルー  
ジャパンエリアコード TV 株式会社  
In Japan Consulting

